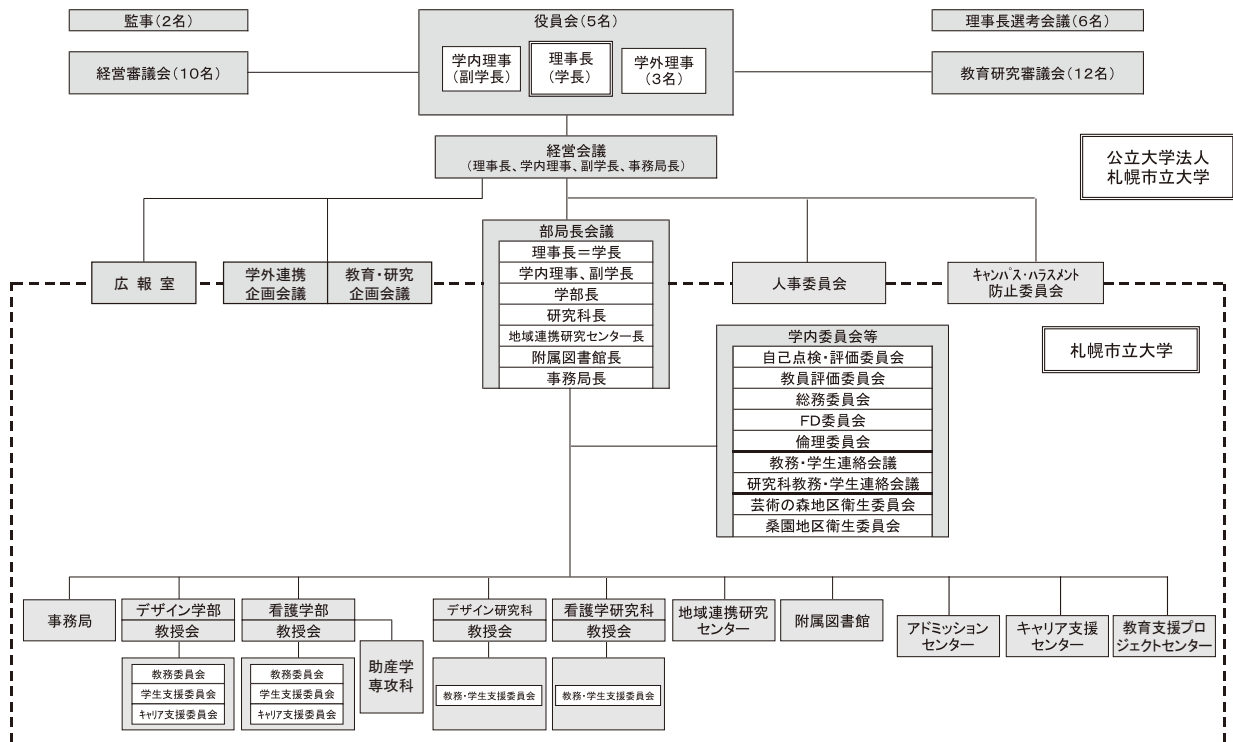




Ⅸ 学内運営の概要

1 平成26(2014)年度公立大学法人札幌市立大学組織図



2 経営会議

平成26年度は12回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

3 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月9日	平成26年度学内委員会について
第2回	5月7日	なし
第3回	6月4日	(1)平成25年度年度計画の実績報告にかかる点検結果について (2)平成25年度決算について (3)研究科倫理審査会規程の策定等について (4)デザイン学部特別選抜入学者選抜試験の変更について (5)清華大学美術学院との学術交流協定の更新について
第4回	7月9日	札幌市立大学学術機関リポジトリ基本方針(案)について
第5回	7月14日	札幌市地方独立行政法人評価委員会によるヒアリングへの対応について
第6回	7月25日	本学学生の行為がネット上で炎上した事案への対応等について
第7回	8月13日	(1)法人評価結果案について (2)2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた大学連携協定の締結について



回数	開催日	議題
第8回	9月3日	(1)公的研究費ガイドラインへの対応について (2)札幌市立大学出納規程の改正について (3)札幌市立大学学術機関リポジトリ基本方針（案）について (4)Office365に備わる各機能の活用について
第9回	10月1日	(1)電子ジャーナル契約の見直しについて (2)2017冬季アジア札幌大会に関する包括連携協定書の締結について (3)喜茂別町との連携協定書の締結について
第10回	11月5日	ラップランド大学との提携について
第11回	12月3日	平成26年～平成27年卒業式・入学式スケジュールについて
第12回	1月7日	(1)平成27年度年度計画の策定スケジュールについて (2)授業料減額・免除制度について
第13回	2月4日	(1)国立台中科技大学との「学術交流協定調印に向けた覚書」の調印について (2)大学施設の学外者への貸出しの変更について
第14回	3月4日	(1)公的研究費不正防止計画について (2)役員会・審議会に諮る規則等改正について (3)大学施設の学外者への貸出しの変更について (4)国立台中科技大学との「学術交流協定調印に向けた覚書」の調印について (5)キャンパス活用プラン骨子について
第15回	3月18日	規則等改正について

4 学外連携企画会議

学外連携企画会議は、平成24年度に策定された第二期経営戦略に基づき平成25年度に新設された会議であり、経営戦略の3つの基本戦略のうち、「大学を学外に開く戦略」を所管し、平成26年度は1回開催した。

平成26年度の主な活動としては、ラップランド大学との交流協定の締結に向けた協議を行った。

5 教育・研究企画会議

教育・研究企画会議は、平成24年度に策定された第二期経営戦略に基づき平成25年度に新設された会議であり、経営戦略の3つの基本戦略のうち、「学内体制を充実・強化する戦略」を所管し、平成26年度は9回開催した。

平成26年度の主な活動としては、教育課程の体系化を進めるため、現行のカリキュラム体系や成績評価、ナンバリング等に関する協議を行ったほか、研究における倫理についての全学FD/SD研修会を開催した。

6 広報室

広報室は、平成25年度末に策定された広報戦略及び行動計画を効果的に推進していくことを目的として平成26年4月に新設された組織であり、平成26年度は12回開催した。

平成27年度版大学案内を21,000部発行し、また、平成28年度版大学案内の検討・制作を行った。

学生の視点を活かした新しい広報誌を制作するため、広報誌の編集・発行に協力してくれる学生スタッフの募集を行い、7名の応募があった。広報室の教員がサポートしながら、学生スタッフが企画や取材等に取り組み、年度末には学生広報誌「ex:)」第1号を発行した。

大学のキャッチコピーの公募（教職員、学生、卒業生対象）を行い、126点の応募の中から、入



賞作品（最優秀賞1作品、優秀賞3作品）の選考を行った。最優秀作品「人と向きあう、未来を創る。」は、平成28年度版大学案内に掲載したほか、様々な広報媒体で活用した。

平成25（2013）年度版の年報を電子データで制作し、公式ウェブに掲載した。

7 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、平成26年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、平成26年度に臨時教授会2回を含む14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても本教授会において、幅広く審議を行った。

教授会終了後には、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、平成26年度に13回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、デザイン研究科博士後期課程に関する事項について審議するため、博士後期課程会議（研究科教授会代議員会）を開催した。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、平成26年度に臨時教授会3回を含む15回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

8 地域連携研究センター

地域・産学連携部門、人材育成部門、国際交流部門、紀要編集委員会の4セクションに構成員を配置して、研究活動、地域貢献および国内外ネットワーク形成の推進を担い、活動を行った。また、運営会議（計11回開催）で課題や情報を集約したほか、知的財産委員会を構成し、学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。主な活動内容は以下のとおりである。

<地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、本学教員・学生が本来の活動の延長上で教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動の協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産官学連携のきっかけを探るために、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、産官学連携を目的とした学外向けの研究交流会の開催や、北海道立総合研究機構との共催研究交流会を開催し、更なるネットワークづくりを図った。

<人材育成>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象



とした13コース（22コマ）【うちCOC関連7コース（11コマ）】の講座を、延べ525名が受講した。平成26年度年度計画に基づき、公開講座を、体系的に整理することにより、全体の傾向を把握し、且つ、今後の公開講座の企画運営において、大学が保有する知的資源を有効に活用することを目的として、受講希望者及び企画運営における2つの視点から、公開講座の体系を大項目として「一般市民向け」「専門職向け」を、中項目として「デザイン分野」「看護分野」「学際分野」を設けた。大項目・中項目に加え、小項目に「4コース9領域」と「共通教育」を加えることにより、分野別に講座の実施状況を把握し、企画運営を行った。

<国際交流>

第2期中期計画で策定した大学の国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、4つの戦略を推進した。

国際化に関する方針に基づき、4つの戦略を下記の通り、推進している。

・「学生の国際化」

デザイン学部生が華梵大学でのワークショップに参加した。承德医学院関係者の来学時の学生交流については、学生が主体的に企画し受入を行った。デザイン学部生が清華大学主催のワークショップに参加した。このことに加え、まだ提携校ではないが、フィンランドとの交流を活発にしていることに伴い、1ヵ月半のインターンシップへの参加、1年間のデザイン学部学生のフィンランド留学等の支援を行っている。さらに、ラップランドで開催したArctic Design weekに本学卒業生の作品展示をしたほか、国際学生ワークショップへ学生が参加した。さらに、外務省が実施している「JENESYS2.0」を受け入れ、フィリピンの学生と本学学生との交流を行った。

・「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表を促すための補助制度を継続し、国際学会誌に発表した際の補助制度を新設した。

・「提携校との交流の活性化」

本学と清華大学美術学院との学術交流協定の更新を行い、本学教員が清華大学美術学院にて学術交流協定更新の記念講演を行った。また、清華大学美術学院教員受入や清華大学美術学院の製品デザイン分野が30周年を迎えることから本学関係者が訪問し発表した。また、国立台中科技大へ学長が訪問した。さらに、ラップランド大にて開催されたサステナビリティウィークに本学教員が参加した。ラップランド大学関係者が共同研究の打ち合わせのため来学した。ラップランド大学へ共同研究の打ち合わせ、Arctic Design Week大学展示に参加、Arctic Sustainable Art and Design(ASAD)ミーティングへの参加のため教員の派遣を行った。

・「海外とのネットワーク化」

札幌国際芸術祭の連携企画として、《7×10：アート&デザインの学生選抜展》を実施した他、札幌市長の紹介もあり、札幌市の姉妹都市であるポートランド（アメリカ、オレゴン州）のパシフィック・ノースウェスト・カレッジ・オブ・アート（PNCA）から関係者が今後の交流の可能性を検討するために来学した。また、タイ王国の医療系大学関係者が看護学部を訪問し、主に医療分野の人材育成教育における教育の質保証について情報交換を行った。

<紀要編集>

前年度に発行準備をしていた研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第8巻」を平成26年5月末に発行した。また、第9巻を平成27年6月末に発行することとし、投稿論文について査読を行い、発行の準備をした。

<研究推進>

地域や産業界から依頼された受託研究15件、寄附金6件の受入れを行い、次年度の学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費）の公募と審査に係わる制度設計を行い、学術論文掲載料等補助の制度を改善した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を、産学官連携のシーズ創出を図るため産学官連携研究交流会及び北海道立総合研究機構との研究交流会を企画・実施した。



<知的財産>

「広域大学知的財産アドバイザー派遣事業：（工業所有権情報・研修館主催）における広域大学知的財産ネットワーク」（①デザイン利活用による地域貢献ネットワーク②看工連携によるものづくりプロジェクト創出ネットワーク③北海道地域中小規模大学知財ネットワーク）へ加盟した。当該事業から派遣される大学知的財産アドバイザーによる「知的財産出前セミナー全4回」を全学FDとして開催した。また、発明2件の特許申請を行った。

9 附属図書館

平成26年度は全11回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館予算の考え方、後援会からの寄附、データベース・電子ジャーナルの契約方針、購読雑誌の契約検討、JAIRO Cloud導入、機関リポジトリの運用方針、研究室蔵書点検の実施方法の検討、等であった。

この他、北海道地区大学図書館協議会総会（8月29日開催）の当番館、公立大学協会図書館協議会北海道東北ブロック地区館会議（9月5日開催）の当番館をつとめた。

芸術の森図書館では、札幌芸術の森美術館との連動企画展を開催（5月15日～6月14日）、札幌芸術の森工芸館との連動企画展を開催（7月15日～8月15日）、アートブックフェアへ参加（11月17日～12月6日）した。

10 アドミッションセンター

入学者選抜試験及びそれに伴う入試広報、入学者選抜方法の調査研究及び統計等に関する事業の計画的な推進を行った。

平成26年度は計10回の会議を開催し、前年度の入試結果の分析、入学者選抜方法の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。なお、デザイン学部について、平成28年度入学者選抜試験からの特別選抜（推薦入学）における高等学校からの推薦人数の変更及び平成29年度入学者選抜試験からの一般選抜（後期日程）における大学入試センター試験の利用科目の変更を決定した。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会、高校訪問及び中学生向け広報活動等を企画・実施した。

11 キャリア支援センター

キャリア支援センター会議は、両学部に関係するキャリア支援に係る改善・充実を目的として、平成20年4月に設置された。両学部のキャリア支援委員会において各学部の特性や特徴及び社会情勢に応じたキャリア支援を行った。

12 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理等に関する事項を所管しており、平成26年度は7回開催した。

平成26年度の主な活動としては、平成25年度年度計画の実績報告書（案）の作成を行ったほか、平成26年度年度計画について半期（一部の項目は四半期）ごとに取組状況の進捗管理を行った。

進捗管理の点検結果は部局長会議等へ報告し学内で共有することにより、取組の遅れている項目



の改善を促すことができ、年度計画の着実な達成に向けた取組を行うことができた。

2) 教員評価委員会

平成26年度は3回の委員会のほか、ワーキングや専門部会を開催し、各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた、記入要領及び申告書様式等の検証や教員評価制度の見直しを行った。

評価結果については、平成26年度末に任期満了を迎える教員の再任審査に活用し、また、研究費の追加配分にも活用した。

3) 総務委員会

平成26年度は9回の委員会を開催した。

委員会では、平成25年度に策定した「キャンパスの活用等に関するプラン骨子（案）」を基に、学内アンケート等を実施し、「プラン骨子」を策定した。

また、大学施設の学外利用について、見直しを行った。

なお、昨年を引き続き、夏季及び冬季の節電対策について検討を行い実施した。

4) FD委員会

FD委員会は、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を積極的に行った。委員会を10回開催し、FD活動の方針について論議するとともに、具体的な取り組みについて、内容を検討し、実施した。

平成26年度の具体的な活動として、FD委員会が主催・共催の全学FD研修会（3回）、学外研修会への教職員派遣（7回延べ7名）、授業評価アンケート集計結果に対する所見の公開を実施した。

なお、学内で実施されたFD研修会の実施状況については、FDマップを作成することで整理している。また、「北海道地区FD・SD推進協議会」に幹事校として参加し、北海道内の大学間のFD活動の交流にも関わっている。

5) 倫理委員会

倫理委員会は研究を遂行する際に、被験者（研究協力者）等の人権擁護の観点から、研究倫理に則った十分な配慮をした研究計画になっているかを審査している。

平成26年度は原則、毎月末日を研究倫理審査申請の締切りとし、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計12回開催）。また、平成24年度から倫理委員会における審査の前段として、倫理委員が審査資料の確認をし、申請者へコメントを送付することにより、審査時間の短縮と研究倫理審査の申請から研究開始までの迅速化を図っている。年間の審査申請総数は42件であり、1回当たり平均3.5件の審査を実施した。審査結果は「承認」、「条件付承認」、「変更の勧告」、「非該当」のいずれかとし、「条件付承認」となった申請については、修正箇所を確認し承認する「迅速審査」を行った。

また、倫理審査の社会的透明性及び客観性を担保し、同時に申請者や委員に係るリスク管理の保全のために、平成23年度から引き続き、法律家を外部委員として委嘱し、吉岡直樹弁護士が委員として審査に加わった。

このほか、人を対象とする医学系研究の倫理指針が交付されたことを受け、倫理審査の基準作成の検討を開始した。

6) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、平成26年度に11回開催し、共通教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即した事項について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議したほか、年度計画に対応した取り組みとしては、共通教育科目の効果検証、授業評価アンケートの見直し、成績評価状況の確認



等を行った。また、毎回、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。

7) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、平成26年度に11回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項及び学生生活に関する事項等について、年度計画を見据え、かつ実際の授業運営等に即した事項について審議した。

具体的には、研究科連携科目である連携プロジェクト演習の効果検証、日本学生支援機構奨学金返還免除者の選考基準の策定、院生研究支援費、チューター制度等に関する事項について審議した。

構成員名簿

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎蓮見 孝 中村 恵子 林 泰男	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 事務局長
	部局長会議	◎蓮見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 上遠野 敏 山本 勝則 林 泰男	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	学外連携企画会議	◎蓮見 孝 上遠野 敏 山本 勝則 林 泰男	理事長 地域連携研究センター長 附属図書館長 事務局長
	教育・研究企画会議	◎中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長
	広報室	◎蓮見 孝 中原 宏 齋藤 利明 スーディ神崎 和代 守村 洋 福田 大年 神島 滋子	理事長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部講師
	人事委員会	◎蓮見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 林 泰男	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	キャンパス・ハラスメント防止委員会	◎蓮 見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 林 泰男	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 事務局長
	地域連携研究センター	◎上 遠野 敏 原 俊彦 矢部 和夫 石井 雅博 松浦 和代 小田 和美 張 浦華 菊地 ひろみ 村松 真澄 石田 勝也 松井 美穂 三谷 篤史 田中 広美 藤井 瑞恵 金子 晋也 坂東 奈穂美 吉田 雅博 上田 理子	地域連携研究センター長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 デザイン学部助教 看護学部助教 事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長 事務局地域連携課長
	図書館	◎山本 勝則 矢部 和夫 町田 佳世子 定廣 和香子 松永 康佑 原井 美佳 長谷川 聡 工藤 京子 上田 理子	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部講師 看護学部講師 デザイン学部助教 看護学部助教 事務局地域連携課長
	教育支援プロジェクトセンター	◎蓮 見 孝 中村 恵子 中原 宏 林 泰男	理事長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部教授 事務局長
	アドミッションセンター	◎酒井 正幸 樋之津 淳子 羽深 久夫 石井 雅博 宮崎 みち子 斉藤 雅也 山田 典子 杉本 達應	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
	アドミッションセンター	太田 晴美 丞野 直樹 布廣 成規	看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長	
	キャリア支援センター	酒井 正幸 ◎樋之津 淳子 石井 雅博 スーディ神崎 和代 吉田 雅博	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長	
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	◎中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 吉田 和夫 松浦 和代 川上 敏正	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局次長 兼 経営企画課長
		教員評価委員会	◎蓮見 孝 中村 恵子 酒井 正幸 樋之津 淳子 城間 祥之 矢部 和夫 宮崎 みち子 林 泰男	学長 副学長 兼 看護学研究科長 デザイン学部長 看護学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 看護学部教授 事務局長
		総務委員会	吉田 恵介 河原田 まり子 三谷 篤史 杉本 達應 山内 まゆみ 三上 智子 ◎林 泰男	デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
		FD委員会	◎上遠野 敏 武邑 光裕 川村 三希子 山田 良 貝谷 敏子 清水 光子 大渕 一博 檜山 明子 丞野 直樹 布廣 成規	地域連携研究センター長 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部助教 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎山本 勝則 石崎 友紀 猪股 千代子 武田 亘明 大野 夏代	附属図書館長 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
学内委員会	常置委員会	倫理委員会	菅原 美樹 片山 めぐみ 上田 理子	看護学部准教授 デザイン学部講師 事務局地域連携課長
	学 部 間	教務・学生連絡会議	◎酒井 正幸 樋之津 淳子 羽深 久夫 原 俊彦 細谷 多聞 河原田 まり子 川村 三希子 烝野 直樹 布廣 成規	デザイン学部長 看護学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
連 絡 調 整 会 議		研 究 科 間	中村 恵子 ◎城間 祥之 中原 宏 猪股 千代子 烝野 直樹 布廣 成規	副学長 兼 看護学研究科長 デザイン研究科長 附属図書館長 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	衛 生 委 員 会	芸術の森地区衛生委員会	町田 佳世子 武田 亘明 長谷川 聡 ◎川上 敏正	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部助教 事務局次長 兼 経営企画課長
桑園地区衛生委員会		坂倉 恵美子 山田 典子 田仲 里江 ◎吉田 雅博	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部助教 事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長	
学 部 委 員 会	デ ザ イ ン 学 部	教務委員会	◎細谷 多聞 町田 佳世子 山田 良 柿山 浩一郎 大渊 一博 須之内 元洋 金子 晋也	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教 デザイン学部助教
		学生支援委員会	◎羽深 久夫 上田 裕文 片山 めぐみ 小宮 加容子 杉本 達應 福田 大年 松井 美穂	デザイン学部教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師
		キャリア支援委員会	◎石井 雅博 杉 哲夫 斉藤 雅也 石田 勝也 上田 裕文	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	デザイン学部 キャリア支援委員会	小宮 加容子 福田 大年 松永 康佑	デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師
	看護学部 教務委員会	◎河原田 まり子 定廣 和香子 上村 浩太 貝谷 敏子 古都 昌子 守村 洋 神島 滋子 田中 広美 原井 美佳 山本 真由美 坂東 奈穂美 星 幸江 御厩 美登里 柏倉 大作	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手 看護学部助手
	看護学部 学生支援委員会	◎川村 三希子 小田 和美 菊地 ひろみ 清水 光子 太田 晴美 渡邊 由加利 工藤 京子 田仲 里江 石引 かずみ 小田嶋 裕輝	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助教 看護学部助手 看護学部助手
	看護学部 キャリア支援委員会	◎スーディ神崎 和代 村松 真澄 櫻井 繭子 藤井 瑞恵 三上 智子 多賀 昌江 横川 亜希子	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部助手
研究科委員会	デザイン研究科 教務・学生支援委員会	◎中原 宏 石井 雅博 羽深 久夫 細谷 多聞 町田 佳世子 矢部 和夫 柿山 浩一郎 斉藤 雅也	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授
	デザイン研究科 研究科倫理審査会	◎石崎 友紀 原 俊彦 片山 めぐみ 吉田 雅博	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部講師 事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長



区分		委員会等	委員・構成員	
			教職員名	所属・職位等
研究科委員会	看護学研究科	教務・学生支援委員会	◎猪股 千代子 古 都 昌 子 大 野 夏 代 菅 原 美 樹 山 内 まゆみ	看護学部教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師
		研究科倫理審査会	◎定廣 和香子 猪股 千代子 村 松 真 澄 吉 田 雅 博	看護学部教授 看護学部教授 看護学部准教授 事務局桑園事務室長 兼 調整担当部長

◎印：所管部局長等



13 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要

(単位：名)

全学FD・SD		研修会名（講師）	場所	参加者数
7月2日	FD	教員および地域住民ファシリテーター養成に向けて (Studio-L・コミュニティデザイナー 西上ありさ氏)	芸森：階段教室	29
8月5日	FD	COCに関わる地域志向科目を考える (細谷教授、河原田教授、藪谷特任助教)	桑園：大講義室、 各教室	55
8月26日	FD	平成26年度札幌市立大学研究交流会	桑園：体育館、講義室1、 講義室2、講義室3	80
10月15日	FD	航空機からチョコレートへ (株式会社マサール 代表取締役 古谷勝氏)	桑園：講義室1 芸森：大講義室 ※遠隔で配信	61
①11月4日 ②11月12日	FD	他学部授業参観（看護学部開講科目） (①山田（典）准教授、②定廣教授)	①桑園：講義室5、3階 実習室、体育館 ②桑園：講義室2	①3 ②2
①11月19日 ②12月19日	FD	他学部授業参観（デザイン学部開講科目） (①小宮講師、②上田講師)	①芸森：C103 ②芸森：C303	①3 ②4
11月19日	FD	地域志向性を取り入れたカリキュラムを考える (定廣教授、細谷教授)	桑園：講義室1 芸森：大会議室 ※遠隔で配信	67
1月7日	FD/SD	知的財産出前セミナー (知的財産アドバイザー 丞村宏氏)	桑園：1階会議室	7
2月9日	FD	研究における倫理について～論文作成における不正 防止と研究経費の執行～ (独立行政法人科学技術振興機構 研究倫理室 副調査 役 高柳氏、主査 田口氏)	桑園：講義室1 芸森：C201 ※遠隔で配信	74
2月10日	FD	SCU=D×Nを語ろう2015 「異分野連携科目（地域 セミナー）」を実現する (COC教育改革推進チーム、FD委員)	桑園：大会議室、 演習室	64

(単位：名)

デザイン学部・研究科 FD・SD		研修会名（講師）	場所	参加者数
4月4日	FD	TAの心構えとTA受け入れについて (城間祥之教授)	芸森：レクチャールーム	3
4月23日	FD	模擬面接担当官から見たSCU学生の特徴・傾向 (有限会社プロ・アシスト 代表取締役 後藤真澄氏)	芸森：大会議室	35
5月27日	FD	デザイン学部コースプレゼンテーション (斉藤准教授、柿山准教授、福田講師、須之内助教)	芸森：大講義室	22
①9月26日 ②9月29日	FD	TAの心構えとTA受け入れについて（城間祥之教授）	①芸森：レクチャールーム ②芸森：E棟 講義室2	9



(単位：名)

看護学部・研究科 FD・SD		研修会名（講師）	場所	参加者数
4月23日	FD	卒業研究説明会－卒業研究の進め方と倫理審査について 看護学部卒業研究科目責任者（菊地ひろみ准教授）	桑園：講義室4	36
6月25日	FD	学位論文における研究倫理審査の課題と展望（宮崎みち子教授）	桑園：講義室4	49
7月16日	FD	SCUデータベースの活用の促進（キャリアデータベース班 山田准教授、村松准教授、三上講師、藤井講師）	桑園：講義室4	36
1月21日	FD	SCUデータベースの活用の現状と課題（キャリアデータベース班 山田典子准教授）	桑園：講義室4	33
3月5日	FD	学生を育てるための、模擬患者と教員の協働について考える（樋之津教授、御厩助手）	桑園：講義室5	52

(単位：名)

SD	研修名	形態	受講者数
4月2日	接遇マナー研修	外部	2
4月10日～11日	新採用職員研修	内部	3
5月14日・21日	Googleアナリティクス×アクセス解析基礎講座	外部	1
5月20日	新任管理・監督者特別講座	外部	1
5月27日	「真・報連相」実践講座	外部	1
7月2日	事例から学ぶ！クレーム対応研修	外部	1
7月14日～16日	平成26年度公立大学職員セミナー	外部	1
7月17日	タイムマネジメントセミナー	外部	2
7月23日	平成26年度公立大学協会 公立大学法人会計基礎セミナー	外部	1
7月31日	学生が大学を訴えた（西沢学園事件）」	内部	5
8月4日	自立型社員養成研修	外部	2
8月5日～7日	平成26年度公立大学協会 公立大学法人会計基礎セミナー	外部	1
9月29日	アサーティブコミュニケーション研修	委託	7
10月2日	ロジカルシンキング強化セッション	外部	1
10月21日	労働契約等解説セミナー2014	外部	1
12月17日	メディアコンテンツを活用した”WebPR”戦略	外部	1
3月20日	公立大学を取り巻く社会環境について	内部	10